

「地方創生」にかかる  
事業者アンケート調査  
報告書  
(速報版)

—平成 27 年 8 月 20 日時点—

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

「府中市人口ビジョン」および「府中まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定にあたり、府中市の将来を展望するための基礎資料として、本市に事業所を構え、活動されている事業所の現況、課題や今後の方向性を把握することを目的に実施したものである。

## 2 調査の方法

- ①調査対象 本市に事業所を構え、活動されている事業所
- ②対象者数 79 事業
- ③抽出方法 工業技術情報センターのデータから抽出
- ④調査方法 郵送配布、郵送回収
- ⑤調査期間 7月18日から8月3日の18日間

## 3 調査項目

- ①従業員の市内居住の可能性について
- ②事業所の経営状況や経営課題について
- ③「働き方の多様化・柔軟化」への取り組みについて

## 4 回収結果

- ①標本数 79 票
- ②有効回収数 35 票
- ③有効回収率 44.3%

## 5 報告書の見方

- ①集計について

比率は、全て百分率 (%) で表し、小数点第 2 位以下を四捨五入して算出している。このため、比率の合計が 100.0%にならない場合がある。

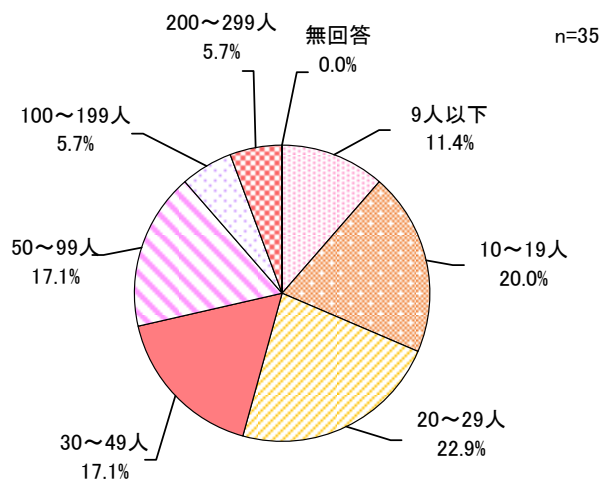
## Ⅱ 調査結果

### F 事業所のこと

問1 貴事業所の従業員（パート、契約社員を含む）の人数は。（おおよその人数記載）

【全体の回答傾向】

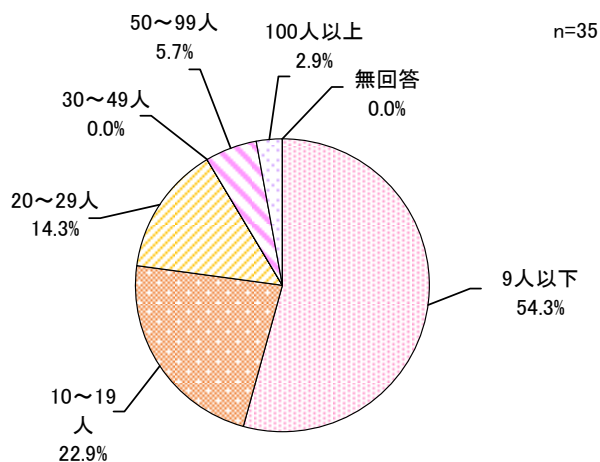
- ・従業員の人数については、「20～29人」が22.9%と最も多く、次いで「10～19人」（20.0%）、「30～49人」（17.1%）、「50～99人」（17.1%）となっています。



問2 本市に居住している従業員数は。（おおよその人数記載）

【全体の回答傾向】

- ・府中市に居住している従業員数については、「9人以下」が54.3%と最も多く、次いで「10～19人」（22.9%）、「20～29人」（14.3%）、「50～99人」（5.7%）となっています。

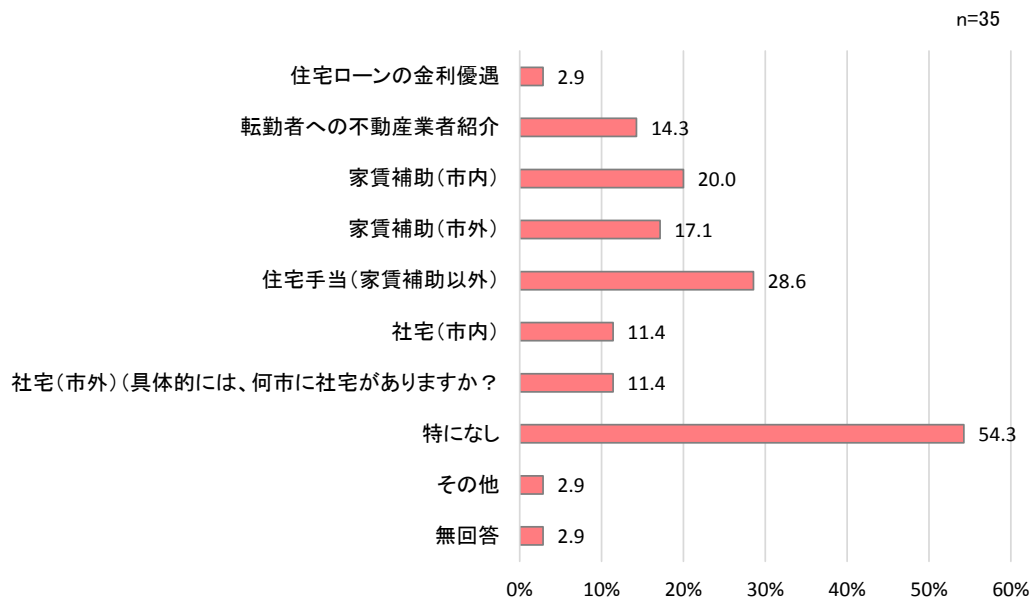


# 1 従業員の市内居住の可能性について

問3 住宅取得や居住選択の際の支援制度はありますか。(該当するものすべて選択)

【全体の回答傾向】

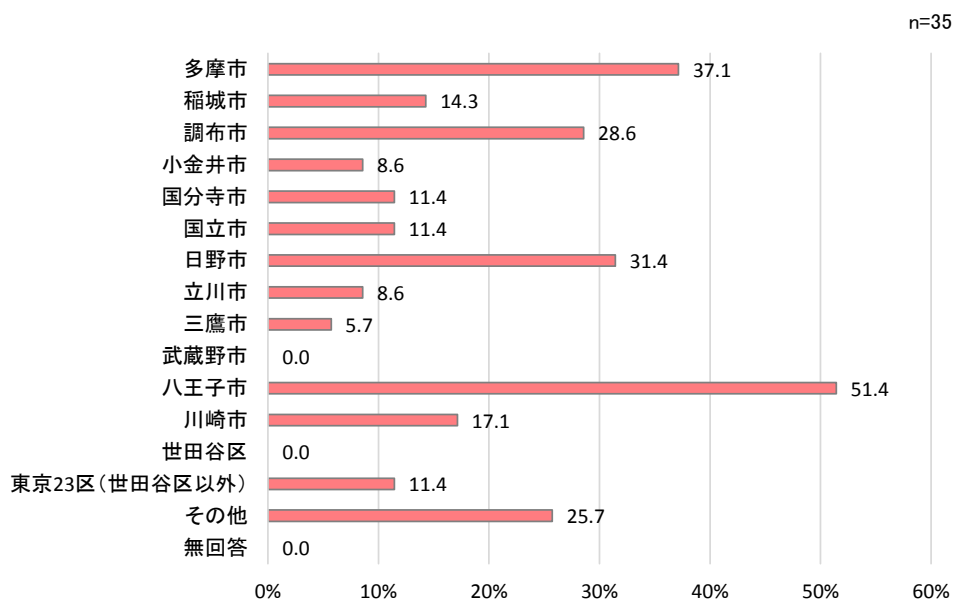
- ・住宅取得や居住選択の際の支援制度については、「特になし」が54.3%と最も多く、次いで「住宅手当(家賃補助以外)」(28.6%)、「家賃補助(市内)」(20.0%)、「家賃補助(市外)」(17.1%)となっています。



問4 従業員はどこに多く住んでいますか。(主なものを3つまで選択)

【全体の回答傾向】

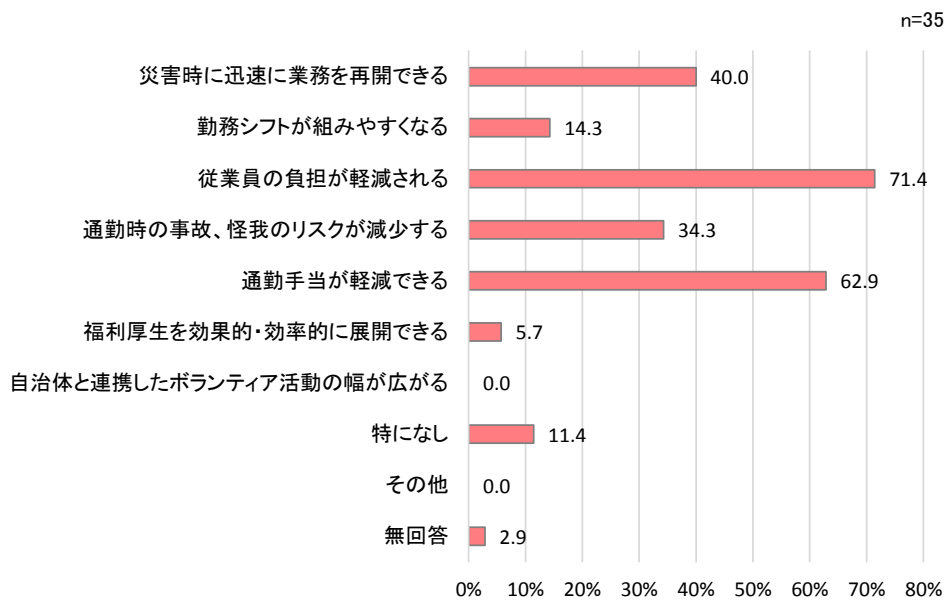
- ・従業員の居住地については、「八王子市」が51.4%と最も多く、次いで「多摩市」(37.1%)、「日野市」(31.4%)、「調布市」(28.6%)となっています。



問5 貴事業所の従業員が、市内に住むメリットはありますか。メリットと考えられるものについて、特に当てはまるものを選んでください。(3つまで選択)

【全体の回答傾向】

- ・従業員が市内に住むメリットについては、「従業員の負担が軽減される」が71.4%と最も多く、次いで「通勤手当が軽減できる」(62.9%)、「災害時に迅速に業務を再開できる」(40.0%)、「通勤時の事故、怪我のリスクが減少する」(34.3%)となっています。

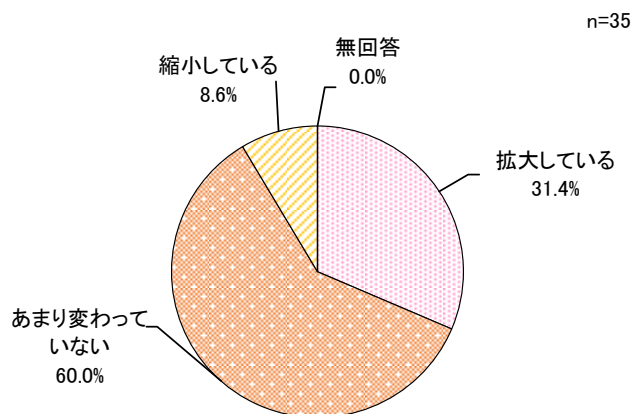


## 2 事業所の経営状況や経営課題について

問7 ここ3年間の経営状況はいかがですか。

【全体の回答傾向】

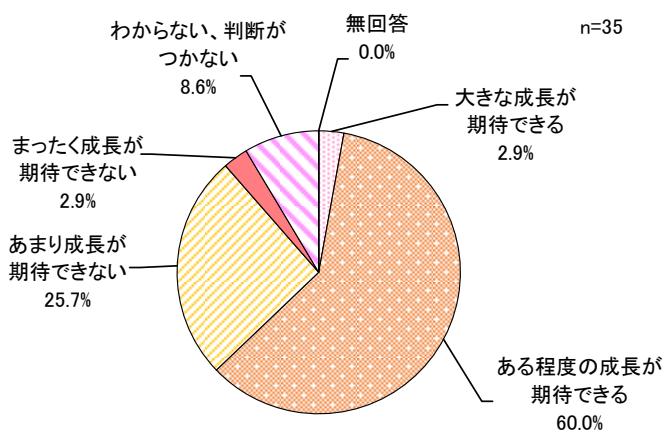
- ・3年間の経営状況については、「あまり変わっていない」が60.0%と最も多く、次いで「拡大している」(31.4%)、「縮小している」(8.6%)となっています。



問8 今後の経営状況の展望はいかがですか。

【全体の回答傾向】

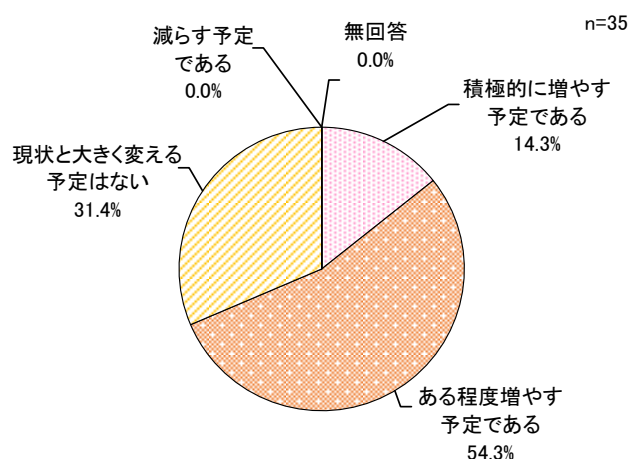
- ・今後の経営状況の展望については、「ある程度の成長が期待できる」が60.0%と最も多く、次いで「あまり成長が期待できない」(25.7%)、「わからない、判断がつかない」(8.6%)となっています。



問9 今後、雇用を増やす予定はありますか。

【全体の回答傾向】

- ・雇用を増やす予定については、「ある程度増やす予定である」が 54.3%と最も多く、次いで「現状と大きく変える予定はない」(31.4%)、「積極的に増やす予定である」(14.3%)となっています。



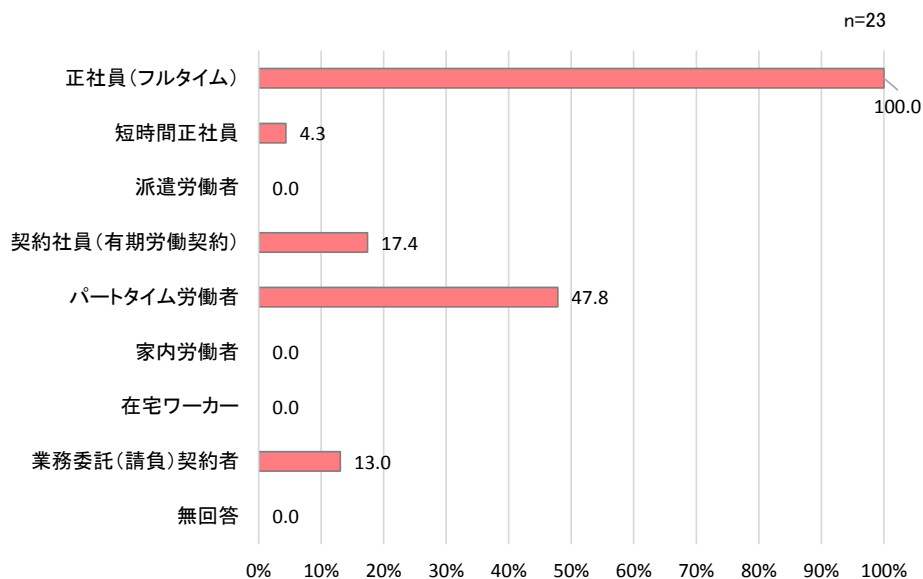
今後雇用を増やす予定のある方(23人)にお聞きします。

問9-1 貴事業所では、どのような形態の雇用を増やしたいとお考えですか。

(当てはまるものすべてを選んでください)

【全体の回答傾向】

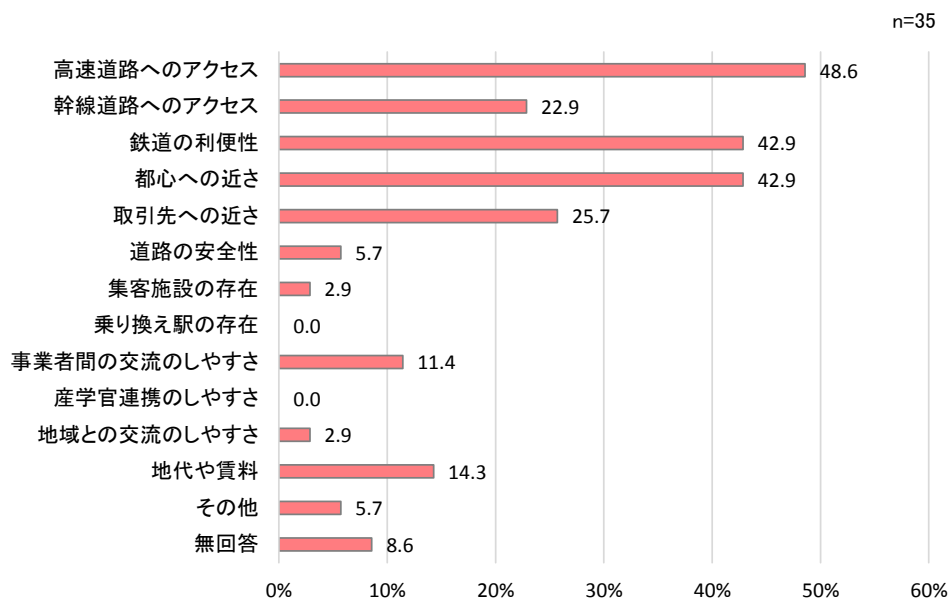
- ・増やしたい雇用形態については、「正社員(フルタイム)」が100%と最も多く、次いで「パートタイム労働者」(47.8%)、「契約社員(有期労働契約)」(17.4%)、「業務委託(請負)契約者」(13.0%)となっています。



問 10 本市の立地環境についてどのようにお考えですか。立地環境としての満足度の高い項目を選んでください。(3つまで選択)

【全体の回答傾向】

- ・満足している立地環境については、「高速道路へのアクセス」が 48.6%と最も多く、次いで「鉄道の利便性」(42.9%)、「都心への近さ」(42.9%)、「取引先への近さ」(25.7%)となっています。

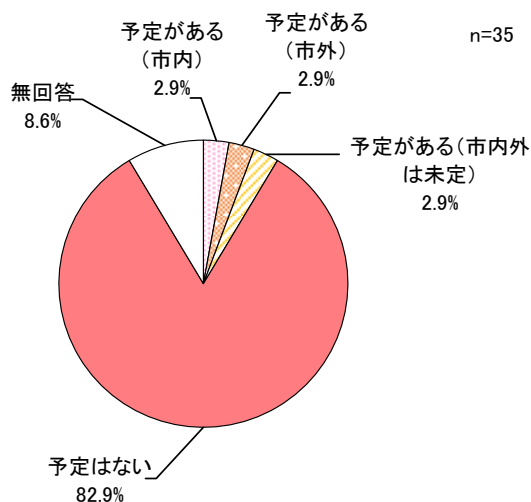


問 11 事業所の移転または拡張の予定はありますか。

【全体の回答傾向】

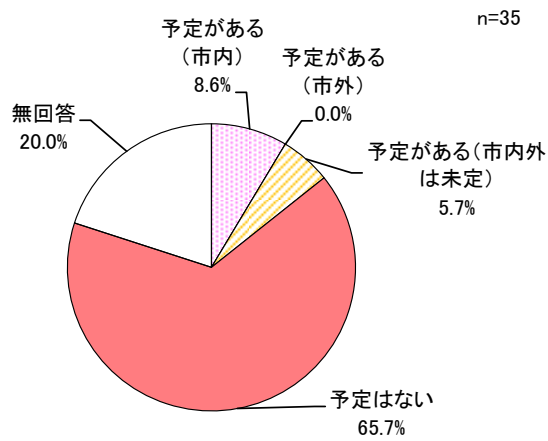
- ・事業所の移転については、「予定はない」が 82.9%と最も多く、次いで「予定がある(市内)」(2.9%)、「予定がある(市外)」(2.9%)、「予定がある(市内外は未定)」(2.9%)となっています。
- ・事業所の拡張については、「予定はない」が 65.7%と最も多く、次いで「予定がある(市内)」(8.6%)、「予定がある(市内外は未定)」(5.7%)となっています。

【移転】





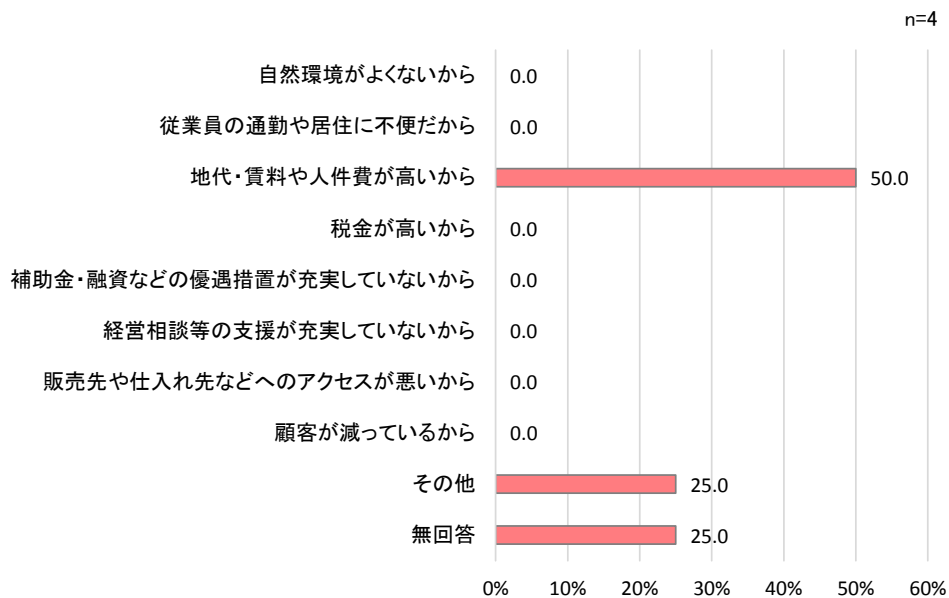
【拡張】



市外への移転および拡張がある方、市内外は未定でいずれかの予定がある方（4人）にお聞きします。  
 問 11-1 貴事業所が市外に移転／拡張を予定する理由は何ですか。（2つまで選択）

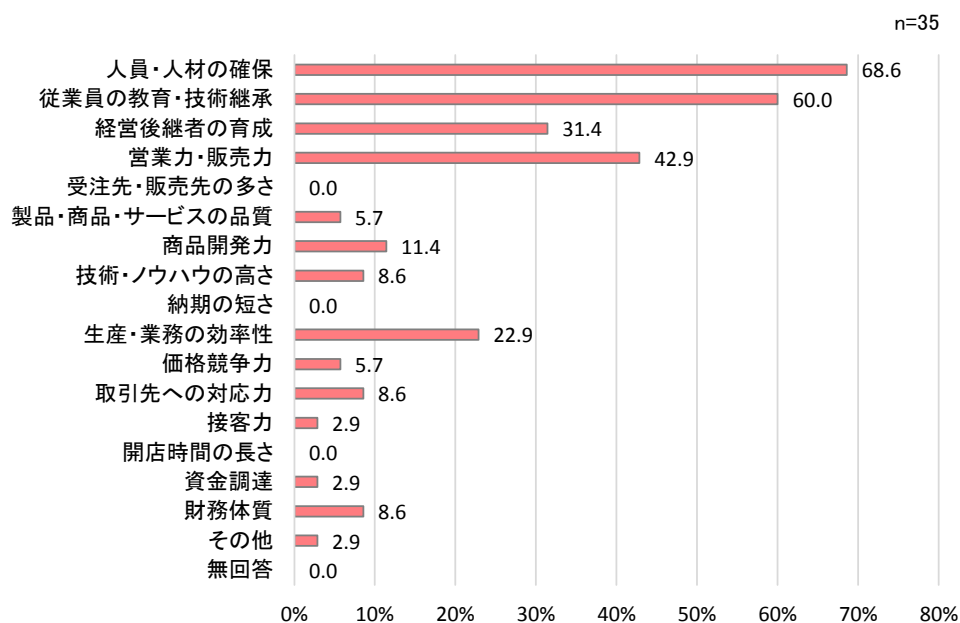
【全体の回答傾向】

- ・市外への移転および拡張を予定する理由については、「地代・賃料や人件費が高いから」が 50.0%と最も多く、次いで「その他」（25.0%）、「無回答」（25.0%）となっています。



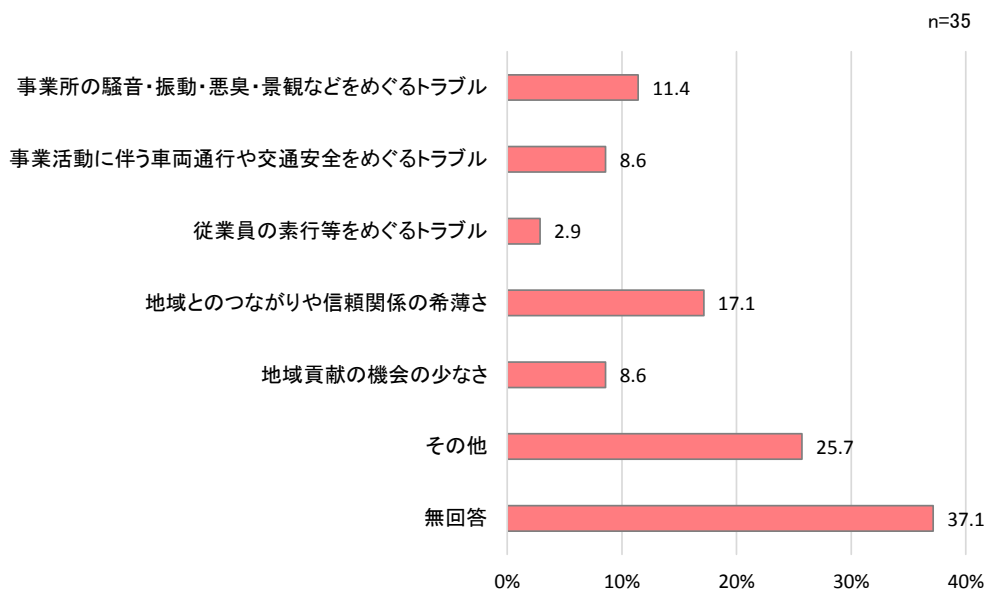
問 12 貴事業所の経営上の課題は何ですか。特に当てはまるものを優先して選んでください。  
(3 つまで選択)

【全体の回答傾向】  
 ・経営上の課題については、「人員・人材の確保」が 68.6%と最も多く、次いで「従業員の教育・技術継承」(60.0%)、「営業力・販売力」(42.9%)、「経営後継者の育成」(31.4%)となっています。



問 13 地域の人や住宅街との関わりの中で課題や悩みはありますか。(当てはまるものすべて選択)

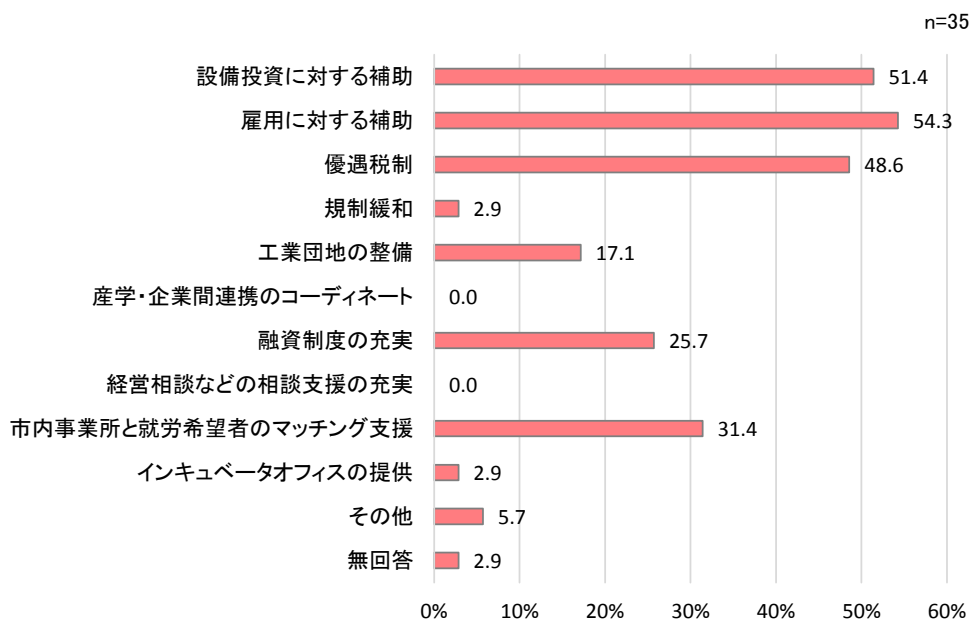
【全体の回答傾向】  
 ・地域の人や住宅街との間での課題や悩みについては、「地域とのつながりや信頼関係の希薄さ」が 17.1%と最も多く、次いで「事業所の騒音・振動・悪臭・景観などをめぐるトラブル」(11.4%)、「事業活動に伴う車両通行や交通安全をめぐるトラブル」(8.6%)となっています。



問 14 貴事業所が本市で今後も事業展開を行うために、どのような支援があると良いとお考えですか。(3 つまで選択)

【全体の回答傾向】

- ・府中市で事業展開を行っていく上で希望する支援については、「雇用に対する補助」が 54.3%と最も多く、次いで「設備投資に対する補助」(51.4%)、「優遇税制」(48.6%)、「市内事業所と就労希望者のマッチング支援」(31.4%)、「融資制度の充実」(25.7%)となっています。

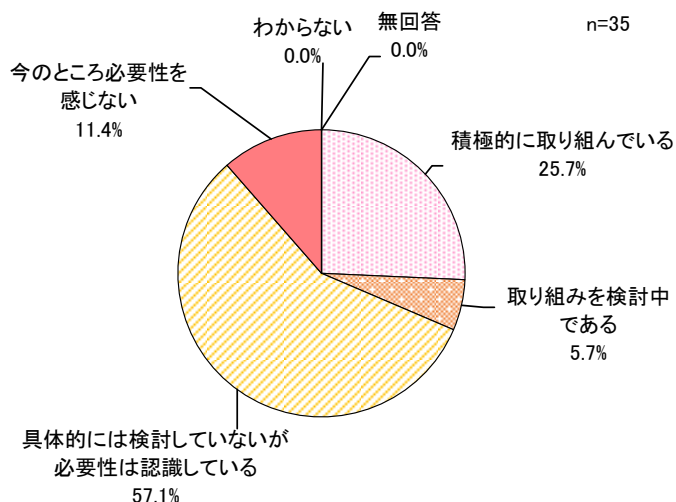


### 3 「働き方の多様化・柔軟化」への取り組みについて

問 15 貴事業所では、働き方の多様化・柔軟化についてどのようにお考えですか。

【全体の回答傾向】

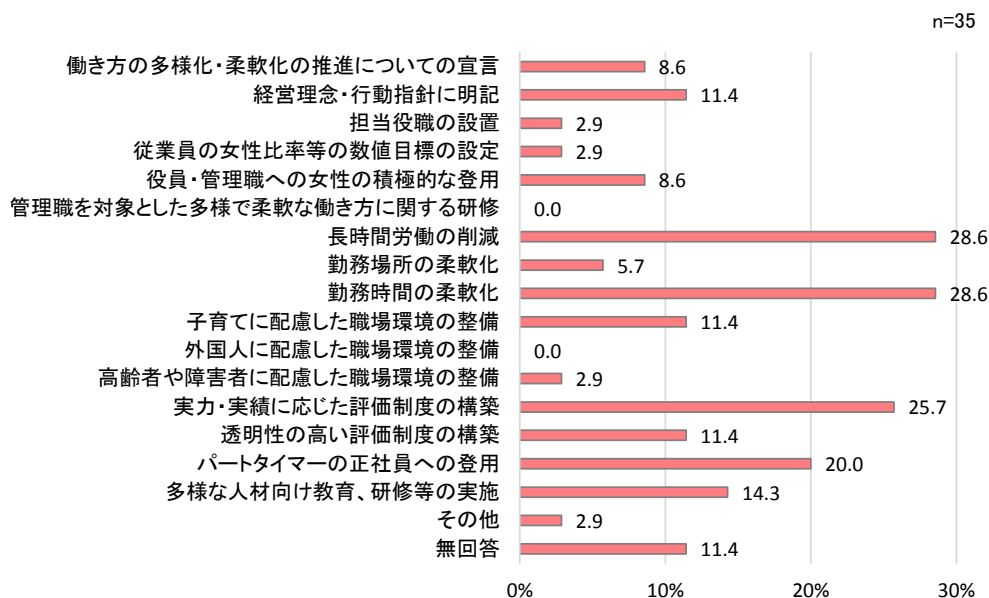
- 働き方の多様化・柔軟化については、「具体的には検討していないが必要性は認識している」が 57.1% と最も多く、次いで「積極的に取り組んでいる」(25.7%)、「今のところ必要性を感じない」(11.4%)、「取り組みを検討中である」(5.7%) となっています。



問 16 働き方の多様化・柔軟化について、貴事業所ではどのような取り組みを行っていますか。また、今後取り組もうと考えているもの（取り組めそうなもの）がありますか。（3 つまで選択）

【全体の回答傾向】

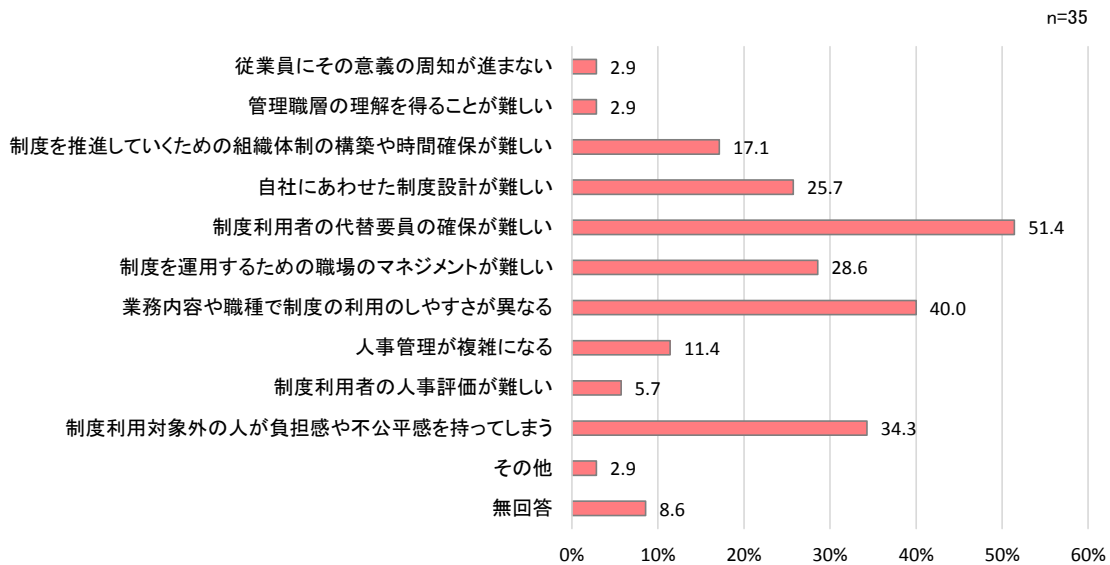
- 働き方の多様化・柔軟化について現在もしくは今後行っていく取組みについては、「長時間労働の削減」、「勤務時間の柔軟化」が 28.6% と最も多く、次いで「実力・実績に応じた評価制度の構築」(25.7%)、「パートタイマーの正社員への登用」(20.0%) となっています。



問 17 貴事業所において、育児や介護をしながら仕事を続けられるようにするための課題は何ですか。(3 つまで選択)

【全体の回答傾向】

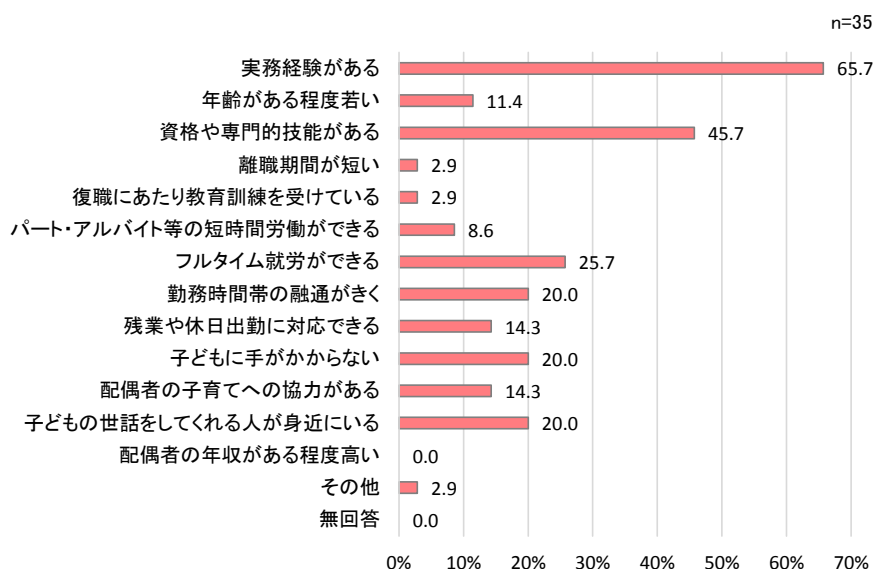
- ・育児や介護をしながら仕事を続けられるための課題については、「制度利用者の代替要員の確保が難しい」が 51.4%と最も多く、次いで「業務内容や職種で制度の利用のしやすさが異なる」(40.0%)、「制度利用対象外の人が負担感や不公平感を持ってしまう」(34.3%)、「制度を運用するための職場のマネジメントが難しい」(28.6%)となっています。



問 18 どのような条件が整えば、結婚や出産などで離職した女性を雇用しやすくなりますか。(3 つまで選択)

【全体の回答傾向】

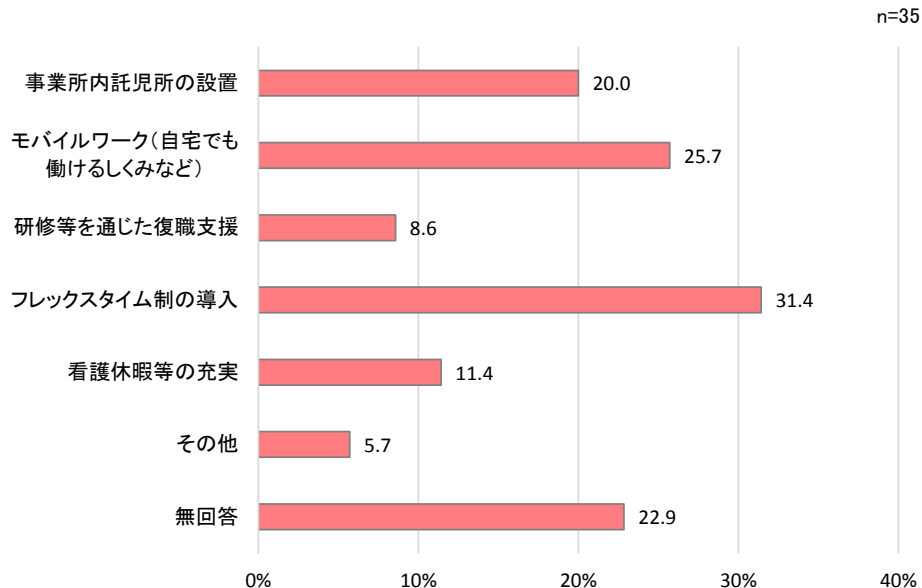
- ・結婚や出産などで離職した女性を雇用するための条件については、「実務経験がある」が 65.7%と最も多く、次いで「資格や専門的スキルがある」(45.7%)、「フルタイム就労ができる」(25.7%)となっています。



問 19 女性の雇用拡大、職場定着を進めるために、有効と考えられる取り組みはどれですか。  
(2 つまで選択)

【全体の回答傾向】

- ・女性の雇用拡大、職場定着を進めるために有効な取り組みについては、「フレックスタイム制の導入」が 31.4%と最も多く、次いで「モバイルワーク（自宅でも働けるしくみなど）」(25.7%)、「無回答」(22.9%)、「事業所内託児所の設置」(20.0%)となっています。



問 20 最後に、府中市における地方創生に向けて、行政側がどのような施策に力を入れるべきと考えますか。(3 つまで選択)

【全体の回答傾向】

- ・府中市における地方創生のために行政が力を入れるべき施策については、「企業の地元拠点強化、企業等における地元採用、就労の拡大」が 42.9%と最も多く、次いで「地域を担う中核企業支援」(34.3%)、「事業承継の円滑化、事業再生、経営活動支援」(28.6%)、「若い世代の経済的安定支援」(28.6%)となっています。

